



Vol.7（2024年8月号）で第1回目の法定協議会の流れについて説明を行ったけど、北海道内でも2回目、3回目を実施した地域も出てきたんだよ。

松前沖が3回目、檜山沖が2回目、岩宇・南後志沖が1回目を実施したって聞いたよ！
（2024年8月末時点）



その通りで、各地域で話し合いの回数を重ねて意見をまとめ上げていってるんだよ。簡単に各地域ならではの特徴的な意見について法定協議会の議事要旨やYouTubeで公開されている会議の様子など※1を参考に紹介するね。



▲※1各地域の法定協議会

松 前 沖



1回目：令和5年 11月 13日
2回目：令和6年 3月 26日
3回目：令和6年 7月 31日



- ・ヤリイカの漁期および産卵期は工事の休止する
- ・マグロの漁期の工事は影響を低減する取組を実施する。
- ・ヤリイカ、ホッケ、ミズダコ等の産卵場には設置しない
- ・各漁港の航路には設置しない

など

檜 山 沖



1回目：令和5年 12月 18日
2回目：令和6年 7月 22日



- ・瀬棚港、江差港を有効活用していただきたい
- ・保全、不適、調整、促進にエリア分けて計画を作成している自治体もある
- ・できるだけ早く出捐金※2を活用できるように決議していただきたい

など

岩宇・南後志沖



1回目：令和6年 7月 29日



- ・岩内港を有効活用して欲しい
- ・路線バスが廃止になったので交通手段の確保をお願いしたい
- ・固定資産税は関連する6自治体で均等配分にする
- ・出捐金^{しゅつえんきん}は関連する漁協で配分してほしい
- ・泊原子力発電所に漂流物が入らないように対策を実施すること

など

※2出捐金・・・地域や漁業との共生のために発電事業者から基金（団体）へ拠出されるお金のこと。（個人に対して支払われるものではない）

各地域ごとに状況は異なるから、出される要望もそれぞれ違って興味深いわね。



地域の状況に合致した意見を出すことが重要なんだ！
島牧でも有意義な会議になることを期待するね！

次回の広報しままき11月号では「出捐金」について解説予定です。